高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 外国語 科目 論理表現 I

教 科: 外国語 科 目: 論理表現 I 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1 学年 A 組~ H 組

教科担当者: (A、D、F組:松井 ) (C、E、G組:石崎 ) (B組:増岡 ) ( H組:和田 )

使用教科書: ( 啓林館 Vision Quest English Logic and Expression I Standard

教科 外国語 の目標:

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこ 【知 識 及 び 技 能 】と、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目標や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報 できる。 というできる。 というできる。 というできる。

【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーションを行う目標や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報 でもいる。 であるなどを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしようとしている。

科目 論理表現 I

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
特徴やきまりを理解するとともに、実際のコ	関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題 について、コミュニケーションを行う目的や場 面、状況などに応じて、話したり書いたりして 情報や考えなどを伝えている。	について、コミュニケーションを行う目的や場

	領域								Т		Π	$\overline{}$
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話「や」		書	評価規準	知	思	態	配当時数
1	A 文の種類と文型 【知識及び技能】 英語の文が技能 英語の文が技能 実際に読んだり書いたり的話したりする技術表力、判断力、表現力を世がながりまりた。、「思考力、判断類が表現力を使いなが支援をあったりのる単常語をあったは対した。なのでは対したののる単常またものには対したのできる。またものはにあったとができる。とでは、大り、大り、大り、大り、大り、大り、大り、大り、大り、大きながら文章を書いたりを表したがでに、対いたと、がでに、対いたのできる。 【学びに、対いたのでは、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	Lesson1 文の種類①② Lesson2 文型と動詞①② Dictationの確認にBYODを活用	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 英語の文の種類と文型を理解し、実際に 読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した文の種類や文型を使いながら、 知っている単語をあてはめて、与えらえ た条件で文章を書いたり発表したりして 伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 理解した文の種類や文型を使いながら、 与えられたテーマに沿って文章を書いたり発表したりしようとする。	0	0	0	8
学期	定期考査及び解説											2
	B 時制 【知識及び技能】 英語の時制を話したりする力を身にに読んだり書いたり話したりする力を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した時制を使いながら、質質といる単語をあては必ず実際に置いる。 を多またものはいるできる。またものはにあったとができる。発表したりすることができる。 と関かした時間を使いて実際できる。 【学と会話を続けた文章できる。 【学と会話を続けたりすることができる。 【学と会話がら文章を書いたり祭】 他者意識しながら文章を書いたりなり、する姿勢が見られる。	Lesson3 時制①② Lesson4 完了①② Dictationの確認にBYODを活用	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 英語の時制を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 (思考力、判断力、表現力等】 理解した時制の知識を使いながら、知っている単語をあてはめて、与えらえた条件で文章を書いたり発表したりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 理解した文の種類や文型を使いながら、 与えられたテーマに沿って文章を書いたり発表したりしようとする。	0	0	0	10
	C 受動態 【知識及び技能】 英語の受動態を理解し、実際に読んだりすいたりまましたりする力を身に付けている。 【思考かという。」 「思考から、知っていたりる単を動態を使いながら、知っていたりると話を続けることができる。 えたり会話を続けることができる。 ま養したりすること人人間性等】 (学びに向かう力、大り間伝わるよう、 を表したりないまで、まないでは、 発表したりすることができる。 【学びに向かう力、と人間伝わるようと、 と、と、まないない。 「学びに向からから、ま体的かつ協働する。 と関わり合う、主体的かつ協働する。 と、関わり合う、主体的かつ協働する。	Lesson6 受動態①② Dictationの確認にBYODを活用	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 英語の受動態を理解し、実際に読んだり 書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した受動態の知識を使いながら、、 知っている単語をあてはめて、与えらして た条件で文章を書いたり発表したりして 伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 理解した文の種類や文型を使いながら、 身えられたテーマに沿って文章を書いたり発表したりしようとする。	0	0	0	6
	D 準動詞 【知識及び技能】	Lesson7 不定詞①② Dictationの確認にRVODを活用						【知識及び技能】 英語の不定詞を理解し、実際に読んだり まいたり話したりしている				

	大田の ことに ことの	ATA COLTAIN → MEBDA(一 PIA)() 「 II)()	0	0	0	0	0	【思考力、判断力、表現力等】 理解した不定語をあてはめて、与えらえた条件で文章を書いたり発表したりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 理解した文の種類や文型を使いながら、与えられたテーマに沿って文章を書いたり発表したりしようとする。	0	6
	定期考査及び解説							f		2
		Lesson8 動名詞①② Lesson9 分詞①② Dictationの確認にBYODを活用						【知識及び技能】 英語の準動詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した準動詞を使いながら、知っている単語をあてはめで実際に質問したり答えたり会話を続けた。またtopicにあった文章を書いたり発表したりした。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、 主体的かつ協働する姿勢が見られた。また他者に伝えることを意識して、文章を書いた。	0	
	定期考査及び解説									2
3 学期	E 関係詞 【知識及び技能】 英語の関係代名詞と関係副詞を理したりずること関係副詞を語したりすること関係副詞を話したりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞でいるができる。 【思考力、記詞をあてはめるにののではいるのではいるのでではないできる。とではできる。といる単なのではができる。といるではいるではいるではいるにはできるできる。というでは、人り、自性にいるでは、大り、自性にいるでは、大り、自性にいるに、対し、大り、自体と会話を続けた文章を書いたというでは、大り、自体と会話を続けた文章をかいると、というには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	Lesson10 関係詞①② Dictationの確認にBYODを活用	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 英語の関係詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した文の種類や文型を使いながら、 知っている単語をあてはめて、与えらえ た条件で文章 に入ている。 【学びに向かう力、人間性等】 理解した文の種類や文型を使いながら、 与えられたテーマに沿って文章を書いた り発表したりしようとする。	0	6
	F 比較 【知識及び技能】 英語の比較表現を理解し、実際に 読んだり書いたり話したりする力を 身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 比較表現を使いなが原に質問でき をえたり会話を続けること章をきいたり 答えたり会話を続けること章をきい たり発表したりすることができ る。またtopicにあったとができる。 【学びに向かう力、大り、伝くなど、 に登るとながら文章を書いたりるよう人 と関わり合う、主体的かつ協働する 姿勢が見られる。	Lesson11 比較①② Dictationの確認にBYODを活用	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 英語の比較表現を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した文の種類や文型を使いながら、 知っている単語をあてはめて、与えらえ た条件で文章を書いたり発表したりして 伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 理解した文の種類や文型を使いながら、 与えられたテーマに沿って文章を書いたり発表したりしようとする。	0	6 合計